

「平泉の文化遺産」の 寺社を知ろう！

世界遺産登録に向けた調査が無事に終了しました。それに伴い、さまざまなことを尋ねられる機会も多くなってきています。このコーナーでは、「平泉の文化遺産」を構成する寺社について、それぞれの立場から分かりやすく解説します。

第7回 毛越寺の延年（一）

正月は、一年を通じて最も行事の多い月です。元朝参りに始まり1日から8日までの修正会、そして二十日夜祭と休む暇もありません。中でも二十日夜祭は、毛越寺の最も重要な年中行事の一つです。

一般に二十日夜祭と呼ばれていますが、正式には正月（春）の常行堂会であり、別に春神事とも春祈禱とも言われています。祭礼は正月14日に始まり15日には作様（米、麦、豆など）を占います。そして7日目の20日は結願の日と呼ばれ、盛大に夜祭りが執り行われます。このためこの日の祭礼を、二十日夜祭と呼ぶようになりました。祭礼が行われる常行堂は藤原基衡公の創建ですが慶長2年（1597）に焼失し、現在の堂は享保17年（1732）に仙台藩主伊達五代吉村公の武運長久を祈願して再建されたものです。

行事は、午後3時の献膳式から始まります。一山僧りよによって雅楽が奏される中、本尊宝冠阿弥陀如来には花献膳、奥殿摩多羅神には野菜献膳が永代献膳者によって供えられます。

午後4時からは常行三昧供法要が修されます。この法要は開山慈覚大師円仁が中国五台山より伝えたもので、独特の旋律を持つ声明が唱えられます。

法要と並行して献膳上り行列が催されます。数カ所

の奉納宿から出発した行列は、平泉駅前一本の行列に編成され毛越寺へ向かいます。松明や供物を持った厄年の方々は、午後8時に到着し堂内へとなだれ込みます。堂内では護摩をたき厄払いの祈禱が行われます。

午後9時静寂の戻った堂内では、法楽として神仏に延年の舞が奉納され夜半まで演じられます。延年とはもともと長寿の意味でしたが、後に諸大寺の法会后に神仏に奉納される歌舞の総称として用いられるようになりました。

二十日夜祭の祭礼は、昭和52年「毛越寺の延年」として国の重要無形民俗文化財に指定されました。

毛越寺 藤里 明久



常行三昧供

教育委員会からのお知らせ

埋蔵文化財発掘調査の実施等について

日ごろ、当町の文化財行政につきましては、多大なご協力を頂きありがとうございます。ご承知のように平泉町内には数多くの貴重な遺跡があります。すでに知られている遺跡内で住宅等を建てたり、切り土・盛土の工事をしたりする場合には、文化財保護の観点から事前に埋蔵文化財の発掘調査が必要です。

事業を円滑に進めるため、皆さまのご理解とご協力を頂いて発掘調査を実施しております。

1 発掘調査（野外調査）の実施期間

発掘調査（野外調査）は毎年4月から10月までの7カ月間です。11月から翌年3月までは室内整理期間（発掘調査報告書作成等）となり、原則として発掘調査（野外調査）は行いません。

2 経費

発掘調査や室内整理にかかる経費については、文化財保護法に基づく原因者負担の原則により、開発事業者負担していただきます。個人の住宅等建設の場合は、国庫補助制度を活用するため個人負担はありません。

3 受付期間（開発事業の協議）

平成20年度の発掘調査予定については、平成19年12月20日までが受付期間です。この期間内に協議があったものを20年度の発掘調査スケジュールに組み入れていきます。住宅建設等の計画がある場合は、できるだけ早い時期に協議をお願いします。

受付場所（協議先）・問い合わせ先

教育委員会 ☎46-5576、文化財センター ☎46-2118

平泉らしい看板を考えよう

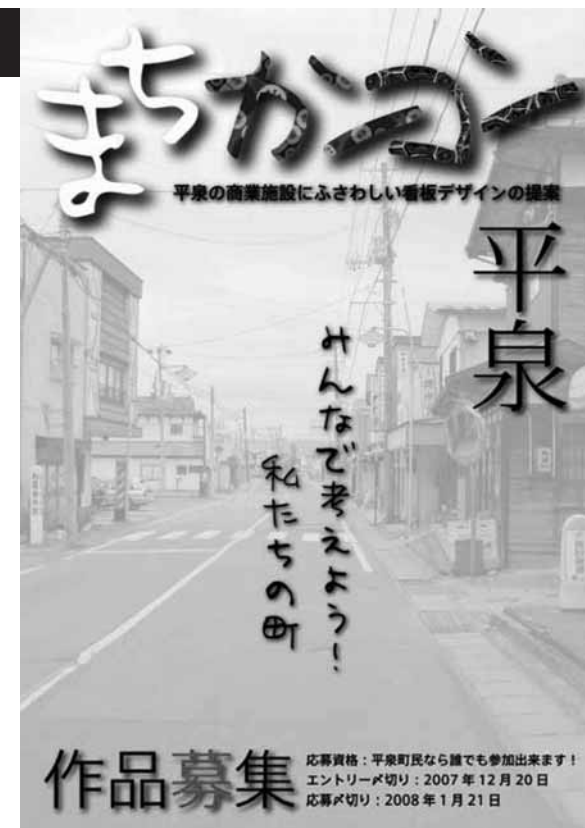
「まちカンコン平泉」 作品募集を開始！

平泉商工会が主催する「まちカンコン平泉」が、作品の募集を開始しました。まちカンコンとは「まちづくり+看板+コンテスト」の造語で、「平泉の商業施設にふさわしい看板デザイン」を町民の皆さんに提案してもらうコンテストです。

本コンテストの趣旨文には「平泉は世界遺産登録を目前に控え、世界に向けてその貴重な文化遺産を発信していこうとしています。そのような歴史文化都市・平泉にふさわしい商業景観とはどのようなものなのでしょうか？」とあります。皆さんはどのように思われますか？

町民の皆さんには、ぜひとも積極的にご参加いただき、「平泉らしい」看板を自由な発想で提案していただきたいと思えます。お子さまの応募も大歓迎です。また団体での応募や一人複数案の応募も可能です。

どうぞ奮ってご応募ください！



◎コンテストの流れ

- 1 一次選考（1月末）…スケッチや文章などを審査し、二次選考に向けて実施製作するものを10点程度選考。
- 2 実施製作（2月中）…一次選考を通過した入選作品を地元製造業者の方々の力を借りて実施製作。製作費は基本的に事務局が負担。
- 3 二次選考（3月朔）…町内の会場で、現物を見ながら町民の皆さんと一緒に選考と授賞を行う。

詳しくは、平泉商工会のホームページ、または商工会で配布しているチラシ（右上）をご覧ください。
問い合わせ先…平泉商工会 ☎46-3560 ホームページアドレス…<http://www.shokokai.com/hiraizumi/>

寄稿 二八会から 古希祝う同期会開催

昭和28年平泉中学校卒業の「二八会（初貝博好会長）は毎年各地持ち回りで同期会を開催しているが、今年には仙台在住者担当で9月9日、10日福島市土湯温泉の観山荘で現存者の半数66人が出席し、70歳となり「古希祝い」と銘打ち開催された。



各地から駆けつけた二八会の皆さん

を祝う儀礼で人生の節目でもありません。記念として長寿を祝う紅白のモチを配った。残念ながら今年3人が亡くなり計28人となりました。

会は黙祷 あいさつに続き岩淵慶子さんの仕舞（羽衣）があり、ピンゴゲームでは当選者10人に仙台名物の豪華景品を提供した。乾杯の音頭は3年間に2度の大地震に負けず復活した新潟県長岡市の菅原正三君が元気に発声を行い余興に入った。仲間たちは芸達者が多くカラオケだけでなく趣向を凝らした寸劇や踊り合唱、手品などブロ顔負けである。

2次会はクラブを貸し切り歌と踊りで大いに盛り上がった。話題は近況のほか懐かしい小・中学校のこと、平泉のこと、世界遺産のこと、孫のことなど夜が更けても話に華が咲きにぎやかであった。翌日はエメラルドグリーンの五色沼を散策し裏磐梯のふもとを通り猪苗代湖畔へ。野口英世記念館や世界のガラス館などを見学し昼食後に解散した。だれを見ても70歳に見えない若々しさで健康第一が合言葉であった。来年は奥州市以北の在住者が担当することとなった。

杜の都二八会
代表・千葉 秋夫
（花立出身、仙台市在住）